

【広報】

荃崎地区の皆様へ

荃崎地区では今、送迎(運転)ボランティアが不足、
通院や買い物にお困りの高齢者が増えて来ています。
高齢者や障害者の外出支援のため、
ぜひ、あなたの力をお貸してください！

荃崎地区では、認知症、リュウマチ、パーキンソン、緑内障や加齢黄斑変性症、骨折等により、一人で外出する事が困難な高齢者が増えてきています。

車の運転ができなくなり、病院やクリニック、歯科医院への通院や、スーパーへの買い物で、バスやタクシーも使えず、自由に外出することもできない。その結果、家に閉じこもらざるを得ない高齢者が増えてつつあります。

こうした「移動困難者」を地域の住民が、「有償ボランティア」としてマイカーで送迎(運転)して、通院や買い物を支援するというのが、住民主体の「福祉有償運送」の活動です。

友の会たすけあいは、荃崎地区の住民が主体となって25年にわたり送迎活動を続けてきました。

つくば市内の移動はマイカーが使えなければとても不便。市民の意識調査でも83.7%の市民が「交通の便が悪い」と答えている。とくに整備されている中心部を除く、周辺地域は深刻。路線バスやつくバスが走っていても、バス停までの距離が遠く、通院には使い難いというのが高齢者の声。

荃崎地区では、頼りにしたいつくタクは1日3台しか走っておらず、予約が取れ難い。土日や祭日は利用はできない。タクシーは便利だが料金が高いため、年金生活の高齢者には度々利用はできない。

わが国の高齢化は2025年には、3人に1人が高齢者になるとされています。しかし荃崎地区では、既に住民の約4割、5人に2人が高齢者となっています。

外出の頻度が減ると高齢者の場合、歩行障害の発生リスクは4倍となり、認知機能低下のリスクは3.5倍になるとも言われています。

元気な高齢者のみなさん、通院や買い物でお困りの高齢者の外出支援のため、有償ボランティアとして送迎活動に、少しの空いている時間と力をお貸してください！

お問い合わせ NPO法人 友の会たすけあい

事務局 つくば市下岩崎2068 荃崎老人福祉センター隣り

でんわ 840-1125 又は 携帯 080-3451-5470